

# 環境意識の向上と環境教育の推進

## 環境教育及び環境学習の促進

横浜市では、平成16年度に「横浜市環境教育基本方針」を策定し、地域の特性やこれまでの実績を踏まえた横浜にふさわしい環境教育のあり方や市民・学校・市民活動団体・事業者・行政などすべての主体の役割や必要な取組などを示しています。また、基本方針の内容を踏まえ、環境行動のガイドとして平成17年度に「横浜市環境教育アクションプラン」を策定しました。

平成20年度は、学校や地域に向けた出前講座を引き続き実施するとともに、3つの重点行動<sup>\*</sup>を実践する地域一体型モデルの実践地域として、若葉台地区(旭区)において地域と横浜市が協働して、レジ袋削減や地域の環境の調査などの環境行動を開始しました。また、蒔田公園にある旧中部公園緑地事務所を「蒔田公園環境活動拠点」として、環境活動団体(11団体)と連携し、「まいたエコサロンの会」を立ち上げ、秋まつりや連続講座を実施し、地域への環境活動の発信を行いました。

今後も、こうした「パイロット事業」の実施・拡充により、さらなる環境教育の推進を図っていきます。

<sup>\*</sup>①366万人の地球温暖化防止の行動 ②ごみにしない3R(廃棄物を出さない、再使用する、再資源化する)行動 ③水と緑をつなぐ環境保全行動



▲ まいたエコサロンでのイベント風景

## 市民・事業者の環境活動の促進

横浜市では、市民・NPO/NGO・大学・企業・行政などによる環境教育や環境活動が盛んに行われています。

### ■ RCE横浜

持続可能な社会の実現を目指して、大学・企業・自治体などの主体の連携を強化し、地域のESD<sup>\*1</sup>を進めていくための拠点(RCE<sup>\*2</sup>)として、平成18年4月、国際連合大学からRCE横浜として認定を受けました。RCE横浜は、さまざまな主体の情報交換や交流を図る場としてのシンポジウムの開催や、インターネットを活用した情報提供・共有など、ESDに取り組む人たちが出会い、交流し、協働できる場づくりを推進しています。

<sup>\*1</sup> ESD:持続可能な開発のための教育(Education for Sustainable Development)  
<sup>\*2</sup> RCE:ESDを推進するための地域拠点(Regional Centres of Expertise on ESD)



▲ RCE横浜での活動風景

### ■ 横浜環境活動賞「表彰」

環境保全・再生・創造に対する関心をより一層高め、地域の環境活動を推進し、環境にやさしいまちづくりを進めることを目的に、地域で様々な環境保全・再生・創造の取組を積極的に行っている個人・団体・企業・学生などを表彰する制度を設け、毎年表彰を行っています。



▲ 平成20年度の横浜環境活動賞受賞風景



## 環境分野における国際的連携の推進

横浜市では、経済成長期における著しい産業型公害を克服してきた経験やこれまで蓄積してきた環境全般に関する技術・ノウハウをアジア諸国に対して提供するなど、技術協力・交流を行っています。現在、北京市、上海市、ベトナムのハノイ市と環境創造技術協力・交流を進めるほか、独立行政法人国際協力機構(JICA)やアジア太平洋都市間協力ネットワーク(CITYNET)と協働・連携して、国際貢献・国際交流活動を進めています。

### ■ ウガンダ野生生物保全事業

平成20年度からウガンダ野生生物教育センター(UWEC)の研修員の受入れと専門の技術職員派遣を開始しました。平成20年度は、UWEC職員2名を受入れ、本市動物園の職員2名がUWECへ赴き、鳥類の人口孵化等について指導しました。



▲動物園での研修

### ■ カンムリシロムク野生復帰事業

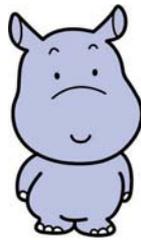
絶滅が危惧される鳥類カンムリシロムクの保護を目的に、横浜市とインドネシア共和国林業省は、繁殖センターで繁殖させたカンムリシロムク計100羽をインドネシア現地へ送る事業を進めています。平成20年度には、これまで見られなかった、放鳥個体の野生下での繁殖を確認しました。



▲カンムリシロムク

## 横浜市の 環境キャラクター 紹介

### 水環境事業キャラクター



#### かぼのだいちゃん

みんなが使った水がどうなるのかを知ってもらいたいんだ。水再生センターで、使った水をきれいにし、川や海にかえているので、見学に来てね!

### 環境行動情報サイト「エコぼと」キャラクター



#### エコぼん

ぼくは環境にイコトが好き。環境にイコトを探して、いつも横浜のまちを飛び回っています。たくさんの人と出会って、みんなと一緒に環境にイコトをしたいな!

### 横浜市脱温暖化イメージキャラクター

#### みんなのアース君



暑くて苦しいよ～。ぼくの体はみんなが暮らしている地球。地球は今どんどん暑くなっているんだ。これ以上暑くならないように地球にやさしい暮らしをしてね!

### 横浜ブランド農産物キャラクター



#### はま菜ちゃん

「はま菜ちゃん」マークがついている野菜や果物は、横浜でつくられているんだって。横浜市内の農家の方が心を込めて作った野菜・果物をみんなで食べよう!

### 「ヨコハマはG30」マスコット



#### へら屋人ミーオ(30)

みんなと一緒にがんばったから、ごみの量が減ってダイエットできたよ!でも、リバウンドが怖いんだ。これからもダイエットが続くように、みんなで応援してね!

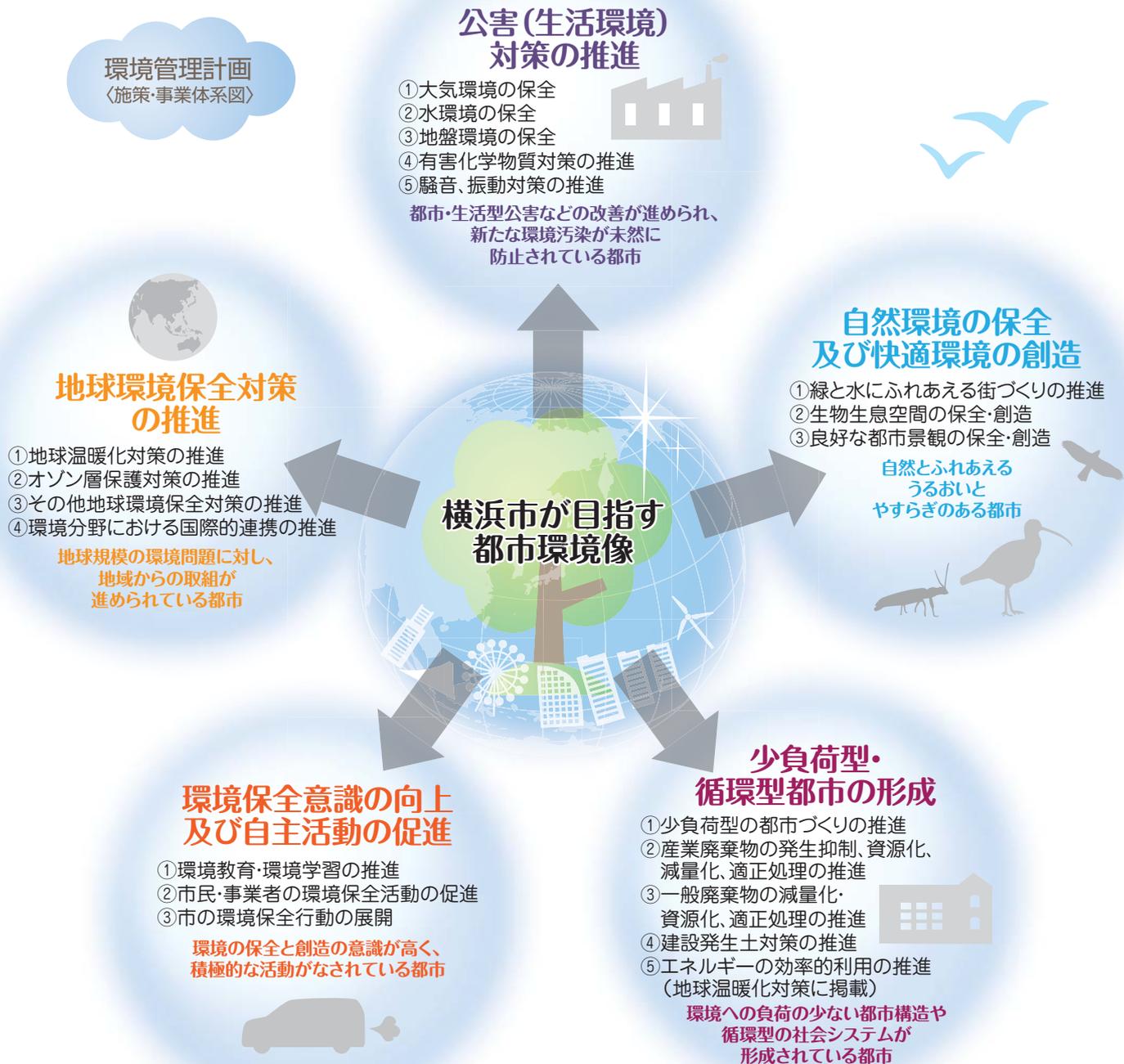
表紙画像

①『開通前の横浜ベイブリッジ』1989年(市民活力推進局広報課提供) ②『横浜駅東口』1970年(市民活力推進局広報課提供) ③『建設中の横浜市庁舎』1959年(市民活力推進局広報課提供) ④『山下町』戦災復興期 1941年～1964年(横浜市中央図書館所蔵)所収 ⑤『程ヶ谷の地割れ』震災復興 1923年～1940年(横浜市中央図書館所蔵)所収 ⑥『横浜グランドホテル(海岸二十番)』工業招致期 1900年～1922年(横浜市中央図書館所蔵)所収 ⑦『大日本五港之内 横浜港』都市整備期 1889年～1899年(横浜市中央図書館所蔵)所収 ⑧『横浜野毛伊勢山従海岸鉄道蒸気車之図』文明開化期 1868年～1888年(横浜市中央図書館所蔵)所収 ⑨『紅毛人園』開国開港期 1854年～1867年(横浜市中央図書館所蔵)所収

# 横浜市環境管理計画について

横浜市環境管理計画は、「横浜市環境の保全及び創造に関する基本条例」に基づき、策定されています。この計画は、市・市民・事業者の役割を示し、三者が一体となって環境の保全及び創造に積極的に取り組んでいくことを定めており、今日の環境問題の解決がはかられている望ましい都市横浜の姿(5つの都市環境像)を掲げるとともに、20の基本施策を定め、その実現を目指すことを目的としています。

このパンフレットは、横浜市環境管理計画に掲げた施策・事業の進捗よく状況をまとめ、毎年、年次報告書として公表している「**横浜の環境**」の概要版です。



横浜の環境(平成21年版)の本編は、次の方法によりご覧になることができます。

- 環境創造局ホームページにて全文(PDF形式)をダウンロードできます。  
<http://www.city.yokohama.jp/me/kankyouto/etc/jyorei/keikaku/kanri/nenjihoukoku/h21/>
- 市立図書館、区役所、市役所市民情報センター等で閲覧できます。
- 市役所市民情報センターで購入(1冊¥1,680)できます。 **販売場所** 横浜市役所 市庁舎1F 市民情報センター

問い合わせ先

横浜市環境創造局企画部企画課 平成21年11月発行  
〒231-0017 横浜市中区港町1-1 ☎045-671-4102 ㊚045-641-3490 ✉ks-kstoiawase@city.yokohama.jp